



音の矢をからだで感じる

● Japan made

<スペック>

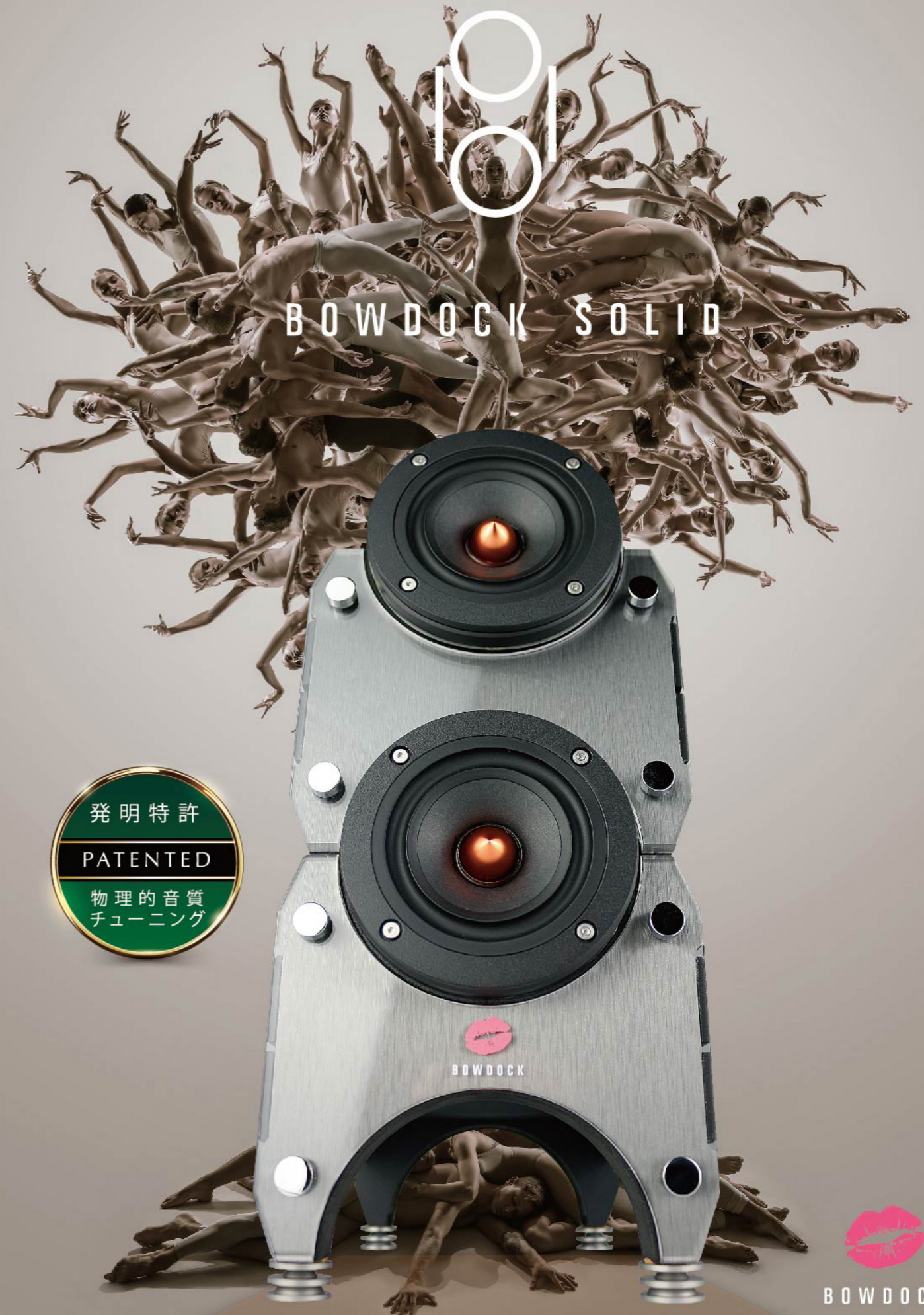
●商品名: BOWDOCK SOLID / パウドックソリッド ●形式: BOW2302 ●密閉型 ●使用ユニット: 9cm フルレンジスピーカー ●再生周波数帯域: 61~20,000 Hz ●出力音圧レベル: 85dB/W (1m) ●インピーダンス: 8Ω ●最大許容入力: 10W ●入力端子: パナプラグ対応ネジ式 ●外形寸法: 142 (W) × 324 (H) × 262 (D) mm (約 / 突起部含む / 縦組み) ●総質量: 2.0 kg (約) × 2本

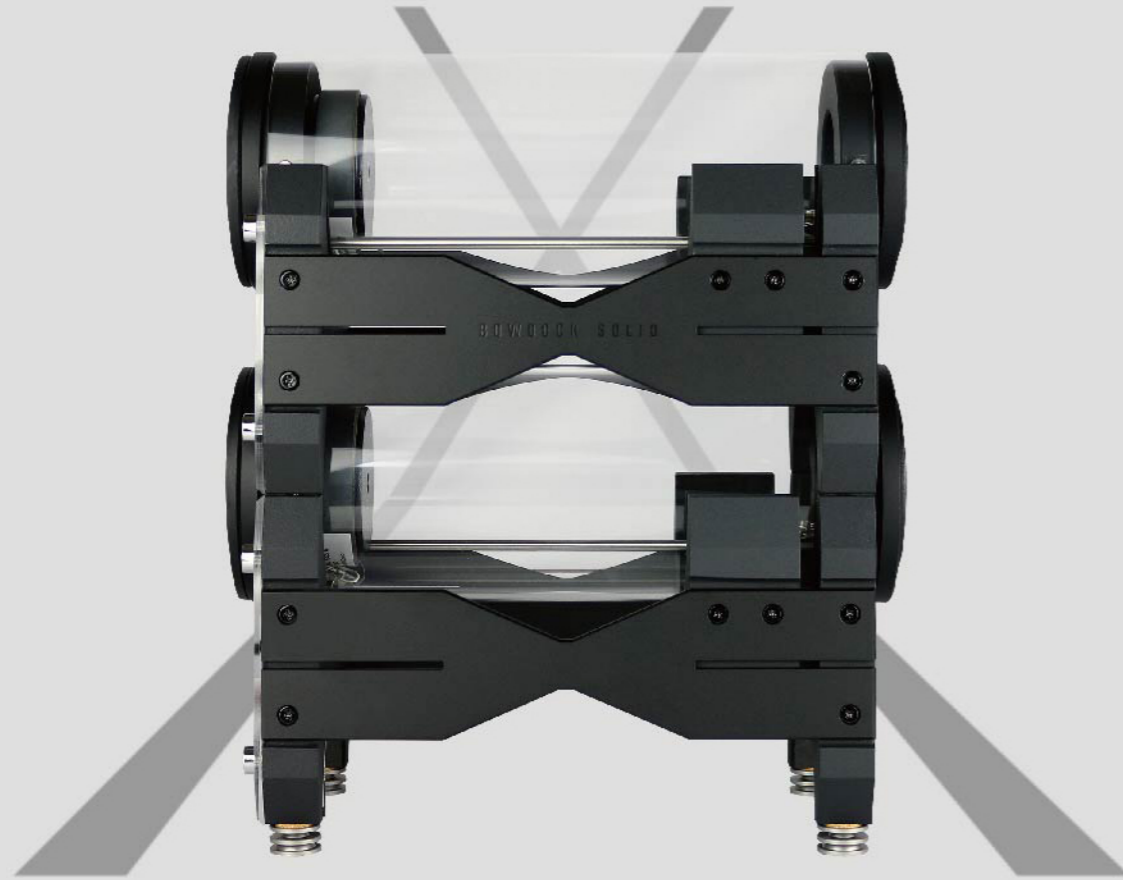
※BOWDOCK SOLID はアンプ機能を内蔵していないオーディオシステムです。動作させるためには、別途アンプとスピーカーケーブルなどが必要です。※仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。※カタログと実際の商品の色とは、印刷の関係で異なることがあります。

オープン価格



← BOWDOCK SOLID のプロモはこちらから
<https://youtu.be/OcccQcLU2g0>





BOWDOCK SOLID



「音の矢をからだで感じる」・・・“超音密度”ニューライブサウンド

BOWDOCK SOLID はスピーカーシステムを縦にセットする“超音密度”ニューライブサウンドが魅力です。フルレンジスピーカー 2 台の間隔をわずかに約 35mm に近づけて音を密集させ「音の矢をからだで感じる」ステレオサウンドを生み出しました。お気に入りのポカ

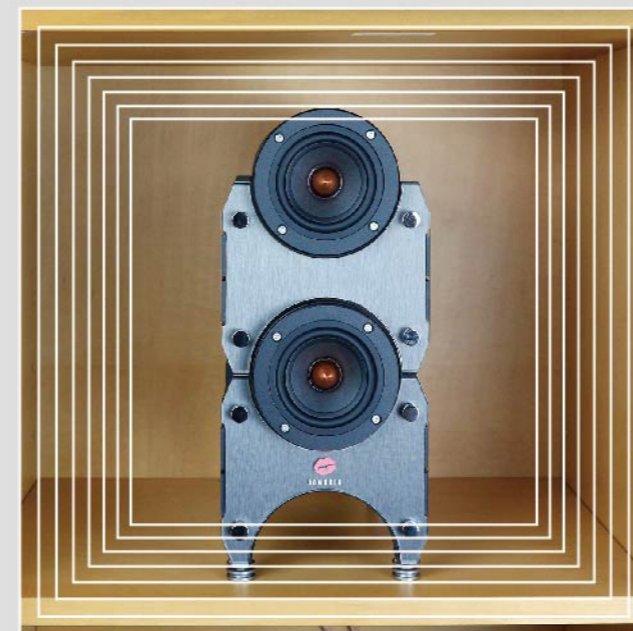
リストが、あなたの部屋で、あなただけに、歌いかけてくれる。チェロやピアノの音が立体的に突き刺さってくる。広がりのないモノラルサウンドとは異なり、音が目の前で踊っているような新感覚の立体的音空間を目指しました。



新しいサウンドを追求・・・異端進化系フォルム

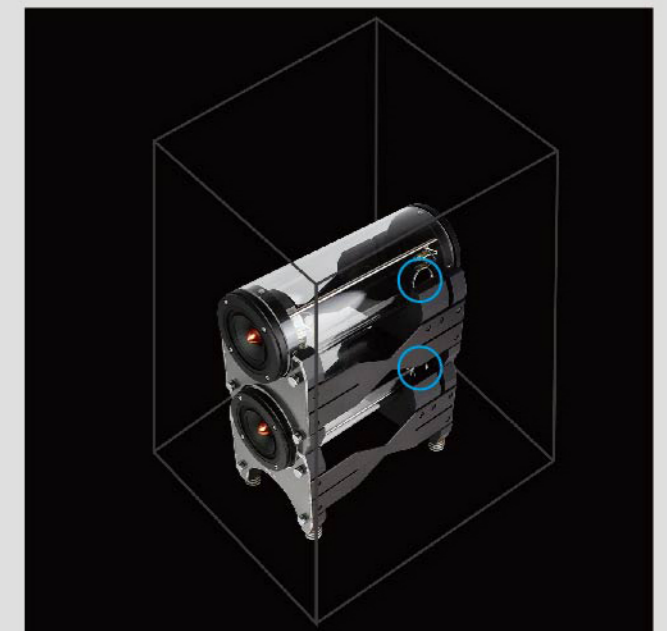
BOWDOCK SOLID は広がりのあるステレオサウンドをギュギュッと狭めたらどんな音圧を感じるだろうかという好奇心から生まれた縦組みステレオです。縦組みにより日本の住宅事情にマッチした省スペースを実現。設置場所に余裕があれば間隔をあけて左右に

配置することで低音を抑えた密閉型ステレオサウンドとなり、軽快かつ繊細なサウンドがお部屋に広がります。サイドパネルはアルミ削り出しで「特別な存在」、「計り知れないポテンシャル」の想いを込めて未知数=Xをモチーフにインテリア性を重視しました。



物理的音質チューニングの応用・・・自由設計するキャビネット空間

BOWDOCK SOLID は密閉型スピーカーシステムですが、発明特許技術の「物理的音質チューニング」を密かに備えています。箱型のAVラックにBOWDOCK SOLIDを収納して音楽を再生しながらキャビネットのバスレフポート（写真右青○印）を1/3～1/2ほど開口



するとAVラック内に波動が飛び出して低音を強化したサウンドが楽しめます。AVラックの大きさ（容量）により音質が異なるため、レコードや本などを置くことでAVラックの容量調整をして好みのサウンドに近づけてください。

※特許（とっきょ英:Patent）とは、法令の定める手続により、国が発明者またはその承継人に対し、特許権を付与する行政行為。 ※一般の家具の場合は音が歪むことがあります。